



氏名	広瀬 義朗 / HIROSE yoshiro	職名	准教授	学位	博士（経済学）
所属	一般科目 / 品川キャンパス	E-mail	yhirose (at) metro-cit.ac.jp		
シーズ キーワード	財政学、地方財政論、福祉国家財政、社会保障財政				

相談可能なテーマ	講座・講演会のテーマ例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家財政</li> <li>・ 地方財政</li> <li>・ 地方創生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費税の役割について（一般向け）</li> <li>・ 年金財政（一般向け）</li> <li>・ 東京都市財政（一般向け）</li> </ul>

研究・教育内容の紹介

**<研究テーマ>** 私は、美濃部都政から石原都政まで東京都財政を中心に地方自治体の財政に興味を持っております。美濃部亮吉都政は革新自治体として注目され、老人医療費の無償化や高齢者に対する都営交通の無料化など、住民本位の様々な福祉政策を実施します。鈴木俊一都政は、好景気を背景に都庁の移転や大江戸線の整備などを積極的に展開します。青島幸男知事は、世界都市博の中止を公約に掲げ、実行しました。

石原慎太郎知事は、現状の法人に対する利益課税・地方法人 2 税に大企業の従業員数や敷地面積等を考慮し、課税を行う外形標準課税を導入し税収増に努めたり、ディーゼル車の規制を高めたりして財政や環境重視であったことが伺えます。一方で福祉や教育に関して、評価は分かれます。これらについて、再考の余地がありそうです。

**<授業科目>** 専攻科生対象の「地域経済論」では、少子高齢社会の下で地方自治体の役割や地方創生に向けての提言、政府間財政調整の議論等を行っております。東京都は特別区のため、本来ならば市町村独自の収入源である固定資産税等が得られず都に吸収され、区長からは自主財源確保に困るなど、授業では特別区の弊害などを解説します。本科 5 年生「国際経済学」では、世界経済やグローバル化に対応した我が国の貿易構造はどのように変化したのかなど、講義のみならず演習を通じて学生の理解度を高める工夫をしています。本科 3 年生「公民Ⅱ」では、毎年度ビジネスアイデア、品川ビジネス創造コンテストに積極的に応募しております。令和 5 年度には昨年度に続き品川ビジコン 2 年連続奨励賞、優秀賞受賞（情報システム工学コース）、令和 3, 4 年度には国税庁主催「税の作文」で 2 年連続品川税務署長賞（最優秀賞）を受賞しました（電気電子工学コース、機械システム工学コース）。



利用可能な機器/施設	所属学会/協会
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本財政学会</li> <li>・ 日仏経営学会</li> <li>・ 日本カナダ学会</li> <li>・ 日本地方財政学会</li> <li>・ 国際公共経済学会</li> </ul>

その他参考事項

元々私の研究テーマは、カナダ福祉国家財政の研究であります。それに加えて東京都や我が国の少子高齢化、人口減社会を踏まえ都や我が国財政について深く考えるようになりました。カナダの連邦財政研究に依拠しつつ、都立高専の 1 教員、1 研究者として研究成果を幅広く発信します。